



ツバメ最終練習

2Q末から練習していたツバメも、本日が最後の練習でした。

本番の天気がどうなるか分かりませんが、どのような形になっても、ここまでのがんばりの成果が発揮できて、見る人を笑顔にできたらいいなと思っています。

今日の練習は雨天時を想定して体育なんで行いました。

笑顔で踊ること、みんなでそろえることを意識して、練習したので、とてもよい表情の写真がたくさんとれました。



1組と3組の集合写真は、カメラマンの後ろが壁で入りきらなかったなので2枚1組です。





ツバメバッジ ～身近な人を笑顔にできる人に～

アートの先生にバッジをデザインしてもらいました。
今年のダンスは小説「小さなツバメの大きな夢」からスタートしました。

だから、最後に「身近な人を笑顔にする」ということに気持ちを向けるため、明日は同じグループの子たちへ感謝の言葉を伝え、その子たちを笑顔にした後、グループみんなでツバメバッジをつけようと思っています。

そうしたら、きっと本番はもっと笑顔で、もっと思いをこめてダンスを踊り、見る人を笑顔にできるはずです。

今日その話を子どもたちにしたら、「グループのメンバーでお互いにバッジをつけ合いたいな」という子もいて、その心の温かさに感心しました。

右に歌詞が、ツバメの歌詞で一番好きな箇所ですが、この歌詞のように、ツバメダンスを通して、みんなの愛があふれて、子どもたちにとっての世界が変わっていくといいなと思っています。



輝く宝石だとか
金箔ではないけれど
こんな風に世界中が
ささやかな愛で溢れたなら
何かがほら変わるはずさ
同じ空の下いつかきっと
それが小さな僕の大きな夢